

あおもり漁連

代表理事長 植村正治書

資源有限漁業無限



No.
135

CONTENTS

ウスメバル刺網漁を終え帰港後、家族で網から魚をはずしている様子

青森県漁業協同組合連合会通常総会	1
青森県漁業経営安定対策本部通常総会	2
植村全漁連会長再選	3
高速巡回船「おいらせ」就役披露	3
鰺ヶ沢～岩崎村地区漁協合併研究会設立総会	4
知事と東部海域漁業者との懇談会	5
知事と西北地区漁業者との懇談会	6
青森市長(市教育委員会)へのホタテ贈呈式	7
「ホタテの日」イベント開催	8
「しじみの森」植樹	9
第55回青森県植樹祭	9
水産団体長改選報告	10
大型クラゲ対策担当者会議	10
浜の情報・話題	11
JF青森漁連・直販店「立佞武多の館」に4月21日オープン	
JFバッテリー取扱(JF全漁連)	
主な水産に関する動き(4月～6月)	12
県内漁協紹介(小泊漁協)	



2004 7

21世紀は漁村の時代

ウスメバルの荷受風景

平成十六年度（第五十五回事業年度）青森県漁連通常総会開催



総会風景

平成十六年六月十七日、青森県水産ビル七階大会議室において、青森県漁連平成十六年度（第五十五回事業年度）通常総会が開催され、平成十五年度決算、平成十六年度事業計画、役員補欠選任の件など七議案を審議、いずれも原案どおり可決決定された。

通常総会は、六十三会員中六十一会員が出席のほか、来賓・関係者が集まるなかで開催された。

開催にあたり、植村正治県漁連会長は「本県の漁業情勢をみますと、会員漁協におかれましても構造的な低落傾向にあり大変困難な状況に直面していることがうかがわれます。しかし、水産基本法が制定され、水産物が重要な国民食糧として位置づけられたことから、我々漁業に携わる者には、水産業の健全な発展を推進し、健康な食生活を営むために必要な安心・安全な食糧を供給していく義務があります。そのため、漁協経営の合理化、合併等を推し進め、漁業・漁村等の持つ多面的機能を十二分に發揮することができる自立漁協を構築し、国民に期待される明るい漁業・漁村を構築していかなければなりません。つくり育てる漁業につきましても、今後、増養殖漁業を推進し、幼稚仔の放流やその幼稚仔を培養するための漁礁等漁場を造成していかなければなりません。更に、生産と流通は車の両輪と言われる時代に、青森県域における特性ある水産物のブランド化も急務であり、これらに取り組んで参ります」と挨拶を述べた。

続いて来賓の三村申吾青森県知事（山谷県農林水産部次長代読）より祝辞があり、議事に入った。

議事は、小鹿久雄後潟漁協組合長を議長に選出し、第一号議案の平成十五年度収支決算を始めとする七議案が上程され、いずれも原案どおり承認決定された。

また、役員補欠選任については、次のとおり選任された。

来賓挨拶を述べる
山谷次長主催者挨拶を述べる
植村会長〔理事〕
泉一郎氏
(大間漁協組合長)議長を務める
小鹿組合長

平成十六年度重点推進事項



総会風景

1. 漁協経営基盤強化対策推進
2. 漁業生産基盤強化、増養殖事業等の推進
3. ほたて、いか、さけ、ひらめ、その他漁業の安定生産のための諸対策
4. 水産物付加価値向上、加工新製品開発及び衛生管理への取組
5. 漁業経営の安定・向上のための諸対策
6. 水産物、水産製品の消費拡大のための諸対策
7. 漁業用石油類、資材の安定供給
8. 漁業環境保全対策
9. その他の諸活動

平成十六年度「青森県漁業経営安定対策本部」通常総会開催

青森県漁業経営安定対策本部の通常総会が、

六月十七日（木）青森県水産ビルで開催された。

はじめに、植村正治本部長が挨拶、続いて来賓である一戸洋次青森県農林水産部長（代理・山

口団体経営改善課長）が祝辞を述べた後、植村本部長が議長となり議事に入った。

議事では、平成十五年度事業報告・収支決算承認の件、平成十六年度事業計画・収支予算設定の件、役員補充の件の三議案全て原案どおり可決決定された。

なお、平成十六年度事業計画重点推進事項及び役員補充結果、十六年度スローガンについては次のとおり。

平成十六年度事業計画重点推進事項

- ・漁業再構築のための基本政策樹立について
- ・漁業経営安定対策について
- ・持続可能な漁業体制の確立について
- ・日中・日韓新漁業協定に関する諸対策について
- ・水産物輸入拡大防止の対策について

役員補充の件（二名）

田高利美（大畠町漁協）
福島哲男（漁船保険組合）

平成十六年度スローガン

・浜の実態に応じた金融対策で

・活力ある豊かな漁村づくりを推進しよう

・無秩序・無原則な貿易自由化を阻止し

・水産資源を持続的に利用できるルールを確立しよう

・JFグループの健全化・自立化をめざし

・事業・経営改革で足腰の強い組織を実現させよう

・水産資源の回復と漁場環境の保全を図り
・安全で安心な水産物の供給体制を構築しよう



主催者挨拶を述べる
植村本部長

来賓挨拶を述べる
山口課長



総会風景

平成十六年六月二十八日、二〇〇四年度全国漁業協同組合連合会通常総会において、植村正治 JF 青森漁連会長が再選（三期目）された。

〔全漁連新執行体制（主な役員）〕

代表理事長 植 村 正 治（JF 青森漁連会長）

代表理事副会長 佐々木 護（JF 愛媛漁連会長）

岸 宏（JF 島根漁連会長）

木 村 稔（JF みやぎ漁連会長）

櫻 庭 武 弘（JF 北海道信漁連会長）

宮 原 邦 之（特別理事）

照 山 光 一（特別理事）

常務理事 石 田 浩（特別理事）
吉 新 藏 敏 彦（特別理事）
田 博 身（特別理事）

代表監事 千 住 克 幸（JF 佐賀信漁連会長）

植村全漁連会長再選

高速巡視船「おいらせ」就役 (青森海上保安部) 就役披露式・祝賀会開催

高速巡視船「おいらせ」が青森海上保安部に配属され、その就役披露式・祝賀会が4月21日、青森市「アラスカ会館」で約150人が出席し開催された。

新造船「おいらせ」は旧「おいらせ」が、老朽化（23年間従事）に伴い代替えされたもの。

はじめに、青森海上保安部・黒木部長が「近年の海上を取り巻く事件・事故は一層多様化、複雑になっている。最新鋭のおいらせが必ずや皆さんの期待に沿い活躍できるよう乗組員とともに頑張りたい」と式辞を述べた。さらに第二管区海上保安本部長の挨拶、青森県知事、青森市長の祝辞、乗務員の紹介があり就役披露式を終了した。また祝賀会では、海上保安協会青森支部の植村支部長が「航海の安全と乗組員のご健勝、そして青森海上保安部の益々のご発展を

祈念したい」と挨拶を述べ、「おいらせ」の就役を祝った。

※ 高速巡視船「おいらせ」主要目

就 役	平成16年3月18日
全 長	56.0m
幅	8.5m
速 度	35ノット以上
総 ト ン 数	335トン
機関の種類	ディーゼル機関 3基
推 進 器	ウォーター





鰯ヶ沢町本
庄において、鰯ヶ沢・
深浦・岩崎地区漁協合
併研究会設立総会が開
催された。

開催に先立ち、青森
県漁連後藤専務が「漁
業情勢が厳しい中で、
漁業者の負託にこたえ
て漁協合併がある。研
究会を発足し、検討
を重ね合併実現に向け
て努力して頂きたい。」
と挨拶した。



研究会委員



研究会委員



挨拶する県漁連後藤専務



会長就任挨拶する太田助役



専門部会メンバー

参加漁協は八漁協（鰯ヶ沢・赤石水産・大戸瀬・風合瀬・深浦・艤作・岩崎・大間越）、研究会会长には鰯ヶ沢町太田豊助役、副会长には深浦町西崎哲助役と岩崎村七戸年一助役がそれぞれ就任した。また、監事には鰯ヶ沢漁協小山内実組合長、深浦漁協森長保組合長、岩崎村漁協伊藤正組合長の三名が選出された。

委員は会長、副会長のほか、参加漁協からそれぞれ三名（二十四名）、青森県農林水産部团体経営改善課二名、（社）青森県漁協経営安定対策協会二名の合計三十一名で構成された。

その後研究会では、六月二十一日、第一回研究会専門部会、六月二十九日、第一回研究会が鰯ヶ沢町においてそれぞれ開催され、研究会に係る運営経費や専門部会の役割分担、十五年度決算状況及び新設漁協の検討事項等、具体的な協議がなされている。



鰯ヶ沢・深浦・岩崎地区漁協合併研究会設立総会発足

平成十六年四月三十日（金）、鰯ヶ沢町ホテルグランメール山海

庄において、鰯ヶ沢・深浦・岩崎地区漁協合併研究会設立総会が開催された。

参考事項として、漁協の参事・総務課長にあたらせる機関として、専門部会を設置した。

また、研究会の議題となる案件作りを、漁協の参事・総務課長にあたらせる機関として、専門部会を設置した。

操業禁止区域の見直しを！



懇談会終了後の記念写真

三村県知事は去る四月二十二日、むつ市の下北文化会館で佐井村漁協から階上漁協で組織する県東部海域漁業協議会（赤石憲二会長）に所属する漁協組合長ら約五十人と漁業問題等について懇談会を行った。

県側は、今年度から生産・流通・販売を結び付け、収益性アップや販売を重視する「攻めの農林水産業」の推進に取り組むことやつくり育てる漁業等、四項目について県の施策について説明をした。

これに対し、各漁協からは本県尻屋崎周辺から太平洋海域での沿岸漁業とまき網・底曳船との操業禁止区域の見直しについて意見が続出した。国は平成十四年八月の大蔵一斉更新で尻屋崎周辺での冲合い底曳船とまき網船の操業禁止区域を沿岸から一〇一・四海里と設定した。

しかし、沿岸漁協は資源管理の面からも尻屋崎周辺を基点に半径六・八海里、その他については沿岸から五海里を要望していたにもかかわらず、このような結果には納得ができないとして、再度三村知事に見直しを要望した。三村知事は「沿岸も沖合いも、共に生きられる形をつくることが大事だ。これからも漁業者のために変わらぬ努力をして参りますのでよろしくお願ひしたい。」と述べた。

知事と東部海域漁業者との懇談会（太平洋地区）



意見を述べる赤石会長



県の考え方を述べる三村県知事

知事と西北地区漁業者との懇談会（日本海地区）

大型クラゲ問題の
早期対策実現を！



懇談会終了後の記念写真

三村県知事は、太平洋地区に次いで六月十四日、鰺ヶ沢町の県水産総合研究センターで、小泊漁協から大間越漁協で組織する西北水産振興会（山本政廣会長）や県漁業士会などの漁業者ら二十四人と、漁業に関する懇談会を行なった。はじめに、県側から、県が掲げる攻めの農林水産業やつくり育てる漁業等、四項目の施策を漁業者に説明した。これに対し漁業者からは、人工海底山脉の造成や投石による藻場造りの要望等が出された。特に二年連続して来襲し、平成十五年に二十数億もの被害を出した大型クラゲ（エチゼンクラゲ）問題では、「情報収集に力を入れてほしい」「小さいうちから駆除できないのか」「県で買い取りしてほしい」等の対策を求める声が相次いだ。これらの声に対し、長谷川出納長から「対策等についてこれまで何度も国に陳情してきた。今後も積極的に働きかける」と答えた。最後に三村県知事から、「これからも皆さんのが声を県政に反映させ、青森県の水産業が元気になるよう頑張りたい」と述べ、閉会した。



意見を述べる山本会長



県の考え方を述べる三村県知事

六月十八日

「ホタテの日」

学校給食へホタテ贈呈

さて、本県の最重要魚種である青森ホタテの消費拡大をより一層促進するため、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会では平成十年度に毎年六月十八日を「ホタテの日」と制定致しました。

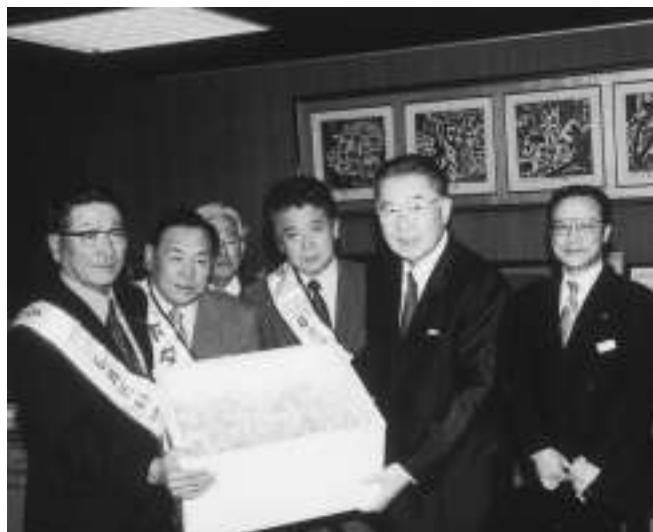
この記念行事として、両団体は青森市内の小・中学校にボイルホタテ一トン（二万七千五百食分）約百万円相当を寄贈するため、青森市役所で佐々木市長に目録を手渡した。

むつ湾漁業振興会三津谷会長は「昨年はホタテの大量へい死などで大変な年だったが、今年は順調に生育している。将来を担う子供達へむつ湾ホタテの美味しさを知つていただきたい」と述べた。

佐々木市長は「地元産業に対する学習の機会を与える、子供達の教育に大変有意義であり、給食センターでおいしく調理して子供たちへ食べさせます」と話し、両団体へ感謝状を贈った。市教育委員会では、寄贈されたボイルホタテを市内小・中学校へコンソメスープやチャウダー、チリソース煮などに調理して配食する計画。



佐々木市長へ目録を手渡すむつ振三津谷会長



佐々木青森市長へホタテ贈呈をするむつ振役員



佐々木市長から感謝状を受ける県漁連後藤専務



記念イベント風景



開会の挨拶を述べる三津谷会長



ホタテ試食コーナー

さて、本県の最重要魚種である青森ホタテのPRと消費拡大をより一層促進するために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会では平成十年度に毎年六月十八日を「ホタテの日」と制定致しました。

これを記念して、今年も翌日の六月十九日（土）に青森市アスパム前において記念イベントが開催されました。

主催者を代表し、むつ湾漁業振興会三津谷会長が「むつ湾ホタテは、豊かな自然の中で育てられ、グリコーゲンをたっぷりと含み風味豊かで、県内外の多くの人々から大変おいしいと親しまれております。これからも、むつ湾ホタテをこよなく愛し、県外の方々にも呼びかけて下さい」と来場者にメッセージを送った。

今年のイベントは、先着千五百名にボイルホタテ（約十五玉入）のプレゼント、記念ウチワのプレゼント、ホタテ試食会、ホタテ貝剥き競争、更にはホタテ製品の特売セール等を行ったが、朝早くから来場者は列をなし、一時間程でホタテのプレゼントはほぼ終了した。また、ホタテの貝剥き競争では手際よくきれいに貝柱を取り出す人がいる一方で、慣れない手つきで苦戦する人もいて歓声や笑い声が上がっていた。

六月十八日「ホタテの日」記念行事開催



試食用ボイルホタテ



ホタテ貝剥き競争

「しじみの森」における植樹

去る五月二十六日、市浦村相内山国有林内において、十三漁協主催による「しじみの森」づくりのための植樹祭が行われた。

当日は漁協組合員、市浦小綠の少年団員、県、村関係者など約二百人が参加し、しじみ貝の良品生産に願いを込めてブナやクリなどの苗木約二、八〇〇本を植樹した。

この取り組みは、昨年度行われた十三湖近くのセバト沼や明神沼岸への植樹の延長となる事業で、今年度は県や国の協力を得たことで規模が拡大され漁協主体の植樹としては大掛かりな活動となつた。

「漁業者も環境保全に関心を持たなければならない時代」とする工藤組合長は、「今年度は木を植え、来年度以降は森を育てていきたい」と長期的な漁協事業として「しじみの森」づくりを計画している。



「しじみの森」入口



植樹作業

第五十五回青森県植樹祭

去る六月二十七日、蓬田村玉松台スポーツガーデンにおいて、青森県植樹祭実行委員会の主催による「第五十五回青森県植樹祭」が、関係者や一般市民ら約五百名が参加し盛大に開催された。

この植樹祭は毎年各市町村が持ち回りで、春から初夏にかけて県土緑化運動の一層の高揚を図ることを目的として開催されている。

当日は、午前十時からのアトラクションと開会式の後、県内の緑の少年団員や関係者によつてソメイヨシノ一〇本、ヤブツバキ一〇〇本が植樹された。

植樹に先立ち緑化功労者の表彰が行われ、緑化推進に尽力した五名の功績が称えられた。植樹の後にはクラフト教室や抽選会なども行われ、参加者たちは緑と親しむ一日を存分に楽しんでいた。

知事と植樹する
緑の少年団員



植樹記念の標柱

水産団体長改選報告

(平成16年6月末)

全国水産業協同組合連合会青森県事務所

所 長

(旧) 植 村 正 治 (新) 古 川 俊

青 森 県 漁 船 保 険 組 合

組合長理事

(旧) 立 石 政 男 (新) 福 島 哲 男
(職務代行者)

青 森 県 漁 業 共 濟 組 合

組合長理事

(旧) 坂 本 源 作 (新) 三津谷 廣 明

大型クラゲ対策会議開催 (水産庁が対策内容説明)

2年連続して来襲し、大きな漁業被害をもたらしたことに対し、水産庁は6月4日、農林水産省で大型クラゲ対策担当者会議を開き、被害防止対策や支援措置などを説明した。

会議には、農林水産省と水産庁、水産総合研究センター、本県をはじめとする関係自治体や漁業団体の担当者ら約百人が出席。

はじめに、木村太郎農林水産大臣政務官が「大型クラゲの生態や回遊ルートについてはまだ不明な点が多い。今年も来遊する可能性があり、漁業者と研究機関そして行政がスクラムを組んで対策しよう」と挨拶をした。

また、説明では対策のための調査・研究を独立行政法人・水産総合センターが中心となり、各自治体や関係機関、大学などと実施するとの報告があり、漁業関係にも協力を仰いだ。

※ 今後の調査・研究内容は次のとおり

- ① 期 間 ・ 平成16年度～18年度（3年間）
- ② 内 容 ・ 生態、大量発生、出現予測の解明
 - ・ 漁業被害防除、排除技術の開発
 - ・ 有効利用技術の開発

さらに、支援措置等については水産庁の各担当者から次のとおり説明がなされた。

- ・ 漁業経営体に対する金融支援措置
- ・ 漁業被害に対する支援措置
- ・ 漁具改良に対する支援措置
- ・ 除去及び処理に対する支援措置
- ・ 来遊に係る情報の共有化について



店員の長内恵美さん

**JF青森漁連・直販店
「立佞武多の館」
(五所川原市) 
4月21日オープン**

営業時間

4月～9月（午前9時～午後7時）
10月～3月（午前9時～午後5時）

電話

0173（38）3232



**JFバッテリー取扱
(JF全漁連)**

船舶に対応した高品質なJFバッテリーの取扱を始めました。

環境保全対策の一環として使用済みバッテリーの回収も行います。

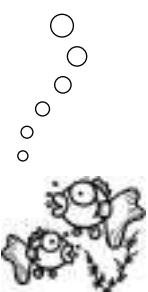
（お問い合わせ先：青森県漁連・購買課）

4大特徴

- 容量UPで長寿命化を実現
- 防爆栓の採用により、安全性に配慮
- 船舶専用付属端子付き
- 船舶対応取扱い説明書を添付



浜の情報報・話題



主な水産に関する動き (4月～6月)

20日(火)	青森県漁協専務参事会研修会、通常総会 (青森市)
21日(水)	高速巡回船「おひらせ」就役披露式 (青森市)
22日(木)	知事と東部海域漁業者との懇談会 (むつ市)
23日(金)	青森県昆布協会通常総会 (青森市)
24日(土)	青森県沿岸漁業振興協会理事会(青森市)
25日(日)	青森県漁業環境保全振興協会通常総会 (青森市)
26日(月)	「じいみの森」植樹 (市浦村)
27日(火)	大畑衛生管理研修会 (青森市)
28日(水)	第1回平館・蟹田・蓬田地区漁協(併研 究会) (大畑町)
29日(木)	第1回平館・蟹田・蓬田地区漁協(併研 究会) (蟹田町)
30日(金)	鰺ヶ沢町～岩崎村地区漁協合併研究会設 立総会 (鰺ヶ沢町)
31日(土)	青森県魚市場協会通常総会 (青森市)
1日(日)	青森県漁業環境保全振興協会通常総会 (青森市)
2日(月)	第2回平館・蟹田・蓬田地区漁協(併研 究会) (青森市)
3日(火)	大型クラゲ対策担当者会議 (東京都)
4日(水)	大型クラゲ対策担当者会議 (東京都)
5日(木)	「ホタテの日」イベント開催 (青森市)
6日(金)	八戸沖操業協定に係る管理委員会 (東京都)
7日(土)	「ホタテの日」イベント開催 (青森市)
8日(日)	青森県漁業信用漁業協同組合連合会通常総会 (青森市)
9日(月)	青森県漁業共済組合連合会通常総会 (青森市)
10日(火)	青森県漁場監視団連合会通常総会 (青森市)
11日(水)	青森県漁業青色申告会連合会研修会・通 常総会 (青森市)
12日(木)	青森県漁業青色申告会連合会研修会・通 常総会 (青森市)
13日(金)	青森県漁業青色申告会連合会研修会・通 常総会 (青森市)
14日(土)	青森県小型いか釣漁業協議会通常総会 (青森市)
15日(日)	知事と西北地区漁業者との懇談会 (鰺ヶ沢町)
16日(月)	共水連推進本部通常総会 (青森市)
17日(火)	青森県はたて流通振興協会通常総会 (青森市)
18日(水)	青森県漁業協同組合連合会通常総会 (青森市)
19日(木)	青森市長(市教育委員会)へのホタテ贈呈 式 (青森市)
20日(金)	青森県漁業信用基金協会通常総会 (青森市)
21日(土)	海上保安協会青森支部通常総会(青森市)
22日(日)	第1回鰺ヶ沢町～岩崎村地区漁協(併研 究会) (東京都)
23日(月)	第55回青森県植樹祭 (蓬田村)
24日(火)	全国漁業協同組合連合会通常総会 (東京都)
25日(水)	第1回鰺ヶ沢町～岩崎村地区漁協(併研 究会) (東京都)
26日(木)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会 (青森市)
27日(金)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会 (青森市)
28日(土)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会 (青森市)
29日(日)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会 (青森市)
30日(月)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会 (青森市)

県内漁協職員紹介

小泊漁協



小泊ライン 小泊岬を望む



七つ滝

小泊村は、津軽半島の日本海側の最北端に位置し、南北に細長い形をした総面積64・62km²を有する臨海山村で人口4,087人、漁業が基幹産業で沿岸漁業の振興とイカにこだわったイベントを開催しております。8月13日～16日には権現まつりが開催され、海水浴場、青岩海岸、七つ滝、龍飛崎を眺望できる眺瞰台があり、風光明媚な小泊海岸が見られます。

今回は、高級魚で知れているウスメバルの大漁で大忙しの「小泊漁協」の皆さんをご紹介致します。

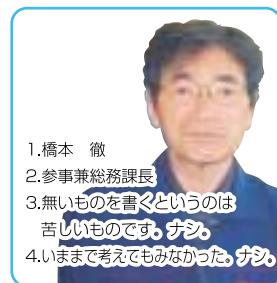
見所は、小泊村から龍飛崎へ通じる龍泊ラインの途中には、海水浴場、青岩海岸、七つ滝、龍飛崎を眺望できる眺瞰台があり、風光明媚な小泊海岸が見られます。

小泊村は、津軽半島の日本海側の最北端に位置し、南北に細長い形をした総面積64・62km²を有する臨海山村で人口4,087人、漁業が基幹産業で沿岸漁業の振興とイカにこだわったイベントを開催しております。8月13日～16日には権現まつりが開催され、海水浴場、青岩海岸、七つ滝、龍飛崎を眺望できる眺瞰台があり、風光明媚な小泊海岸が見られます。

小泊村



1. 氏名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR



1. 橋本 徹
2. 参事兼総務課長
3. 無いものを書くというのは 苦しいものです。ナン。
4. 今まで考えてもみなかった、ナシ。



1. 橋本 美津男
2. 購買課長
3. なし
4. なし



1. 成田 直人
2. 信用課長
3. 読書、映画鑑賞
4. 特になし



1. 三橋 正孝
2. 信用係長
3. 山菜取り
4. 特になし



1. 田中 偵一郎
2. 信用課
3. 海
4. 特になし



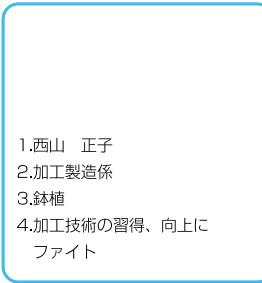
1. 岡本 琴美
2. 信用課(臨時)
3. 読書、映画鑑賞
4. 特になし



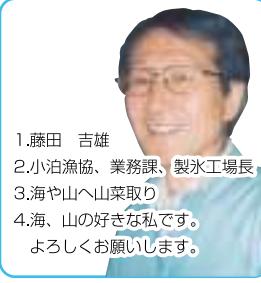
1. 角田 好隆
2. 加工課長
3. スポーツ、囲碁
4. 昭和22年生
「猪突猛進頑張ろう!」



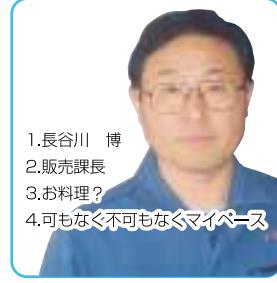
1. 升田 はな子
2. 加工課
3. 裁縫
4. 小泊の水産物加工、おいしいよ まかせといで



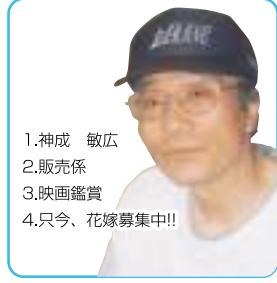
1. 西山 正子
2. 加工製造係
3. 鉢植
4. 加工技術の習得、向上に ファイト



1. 藤田 吉雄
2. 小泊漁協、業務課、製氷工場長
3. 海や山へ山菜取り
4. 海、山の好きな私です。
よろしくお願いします。



1. 長谷川 博
2. 販売課長
3. お料理?
4. 可もなく不可もなくマイペース



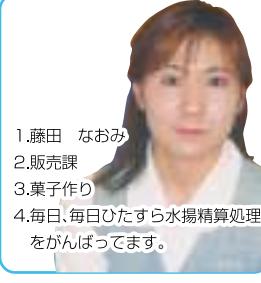
1. 神成 敏広
2. 販売係
3. 映画鑑賞
4. 只今、花嫁募集中!!



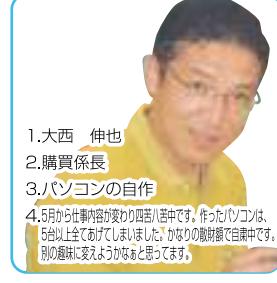
1. 小林 寿伸
2. 販売係
3. 掃除
4. 自画自賛?



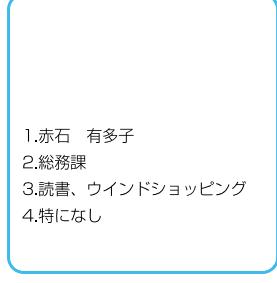
1. 赤石 玲治
2. 販売課
3. 洗車
4. 特になし



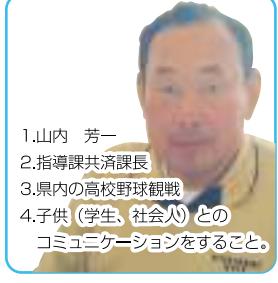
1. 藤田 なおみ
2. 販売課
3. 菓子作り
4. 毎日、毎日ひたすら水揚精算処理 をがんばってます。



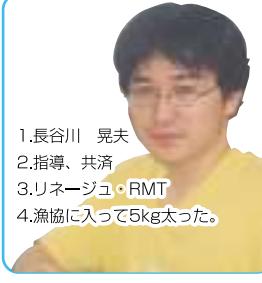
1. 大西 伸也
2. 購買係長
3. パソコンの自作
4. 5歳から仕事内容が複雑な活字でした。作ったパソコンは、5台以上全て失ってしまいました。かなりの敵討會で自腹中です。別の趣味に変えようかなとも思ってます。



1. 赤石 有多子
2. 総務課
3. 読書、ウインドショッピング
4. 特になし



1. 山内 芳一
2. 指導課共済課長
3. 県内の高校野球観戦
4. 子供(学生、社会人)との コミュニケーションをすること。



1. 長谷川 晃夫
2. 指導、共済
3. リネージュ・RMT
4. 漁協に入って5kg太った。